

## 『コンテンツ保護とプラットフォーム学』

～新たなコンテンツ保護技術から考えるエンターテインメントの未来像～

東映・KADOKAWAの名プロデューサー陣と  
日本のフィンテックやデジタルガバナンスをリードする専門家が  
コンテンツ保護やエンタメ産業が進むこれからの議論する

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS9  
産業と技術革新の  
基盤をつくらう

情報学と複数領域を連携させ、新しい価値創造を目指すプラットフォーム学。このプラットフォーム学を扱う京都大学「社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム」では、プログラムの一環として毎月セミナーを開催しています。第9回となる今回は、新たなデジタル技術によるコンテンツ保護に関する現状と、その未来像をプラットフォーム学的に議論します。SDGsのゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」も見据えつつ、長年エンタメ業界を牽引してきたプロデューサー陣と、ブロックチェーンについて、技術・規制・ビジネスの観点から研究してきたFinTech（フィンテック）の専門家が集い、これからのコンテンツ産業や世界を楽しませる日本ならではのエンタメが進む未来像を、セミナーを通じて探索します。

イベント概要

- 開催：2022年3月30日（水）
- 時間：16:45～18:45（履修生は19:15終了予定）
- 主催：京都大学プラットフォーム学卓越大学院
- 協力：京大オリジナル株式会社／株式会社角川アスキー総合研究所
- 事前応募制／オンラインセミナー（Zoomウェビナー形式※）

※セミナーご参加には、お使いのパソコンやスマートフォンで、Zoomへ接続できる環境を事前に準備いただく必要があります。



お申し込みはこちら  
(3月29日12時締切)

## 登壇者

井上伸一郎氏 株式会社KADOKAWA 上級顧問 エグゼクティブ・フェロー  
白倉伸一郎氏 東映株式会社 取締役

岩下直行 教授 京都大学 公共政策大学院  
原田博司 教授 京都大学 プラットフォーム学卓越大学院 プログラムコーディネーター